

初日の質疑・討論から

◎議案第32号(令和2年度松前町一般会計補正予算第1号の専決処分

の承認の件)で質疑があった。

問 不測かつ緊急の事態に備え予備費を計上しているが、現在、予想される用途は。 田中議員

答 現段階で、教育施設の感染対策への早急な対応として223万8千円

の予備費の充用、それ以前には特別給付金の早急な対応のためのシステム改修にも使っている。今後早急に必要な場合、予備費の対応を考

えている。 特別定額給付金給付事業費に関する事務費の内訳で、給料、通勤手当、期末手当が発生しているが要因は。

答 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴う対応に、会計年度任用職員2名を9月まで雇用予定のため。

◎議案第66号(北伊予小学校トイレ改修建築主体工事請負契約の締結の件)で質疑、討論があった。

問 入札業者が二つで、ひとは予定価格より上で、もう一方は最低制限額より低い。本来なら両方とも失格で再入札すべきだったのでは。

答 低入札価格調査基準価格を下回った業者に低入札調査委員会の調査をし、問題がないという調査結果を経て決定した。

問 低入札価格調査基準価格は、最低制限価格の何%までという基準があるのか。

答 公契連のガイドラインに沿って出された低入札価格調査基準価格の上下0.1%範囲内で定めた価格であり、何%という基準はない。

※公契連 公共工事契約制度運用連絡協議会の略。

★反対討論

今回の入札に関して、低入札価格を下れば、即失格になると思い、適正な価格で入札できると思っていたが、決まった入札業者の提示価格は、低入札価格より下回るものであった。安ければよいというものではない。

低入札価格調査委員会に調査されたと聞くが、労働者の負担(働き方改革に反するもの)や犠牲のもとに出された価格で積算されたものではないと本当に言えるだろうか。町内の



↓北伊予小学校(校舎)



↓改修前の北伊予小トイレ

建設業界の発展に向け、入札制度改革をしていけるのか。時代の流れに合わせ、工事の品質向上、現場の安全保持、業者(労働者)の福利厚生、社会保険などしっかり考慮されているだろうか。松前町は業者に対し底なしの価格競争をさせていないか。

以上のような問題点を考えれば、今回の入札決定は、撤回し再度入札をすべきではないかと考え、この議案には反対である。

村井議員

最終日の討論から

◎議案第39号

(松前町職員倫理条例)

職員の法令遵守及び倫理の保持に関して必要な措置を講じ、町民の信頼を確保するため新たに制定するもので、総務産業建設常任委員会に付託され委員長よりこの案件は全会一致で可決されたと報告があった。

★反対討論

条例制定には賛成であるが、今回出された条例には反対である。

その理由

1 条例内容の不備

(1)コンプライアンス審査会の任務に不備がある。

職員の非違行為や不当要求行為があった場合は、第3者であるこの審査会が、「調査、意見聴取、審査等」をすべきである。

(2)不当要求行為への組織的対応がない。

組織的に対応し、職員を守る事が大切。この条例は、職員が守るべき条例で

あるとともに、職員を守るべき条例でなくてはならない。

2 審議の在り方に問題

質問や意見をしなくても「修正できない」、「時間がない」では、「可決が当然を前提とした審議」であり、これは議会軽視以外の何ものでもない。

内容等を再検討し、臨時議会か9月議会で再度提案してほしい。

曾我部議員

★賛成討論はなく、委員長の報告どおり、賛成8、反対3の賛成多数で可決した。

(反対 曾我部・伊賀上・西村議員)

※6月議会では議員辞職と病欠により今議会の採決にかかわった議員は、議長を除いて11名。